

新川排水区ほか大規模雨水処理施設整備事業計画（鹿児島市）

（様式1）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>新川排水区等の雨水管渠については、交通量の影響や潮位の影響による塩害により、雨水処理施設の老朽化が進行している。これらの施設について適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため、集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画におけるハード・ソフト含めた対象降雨：66mm/hr</li> <li>・目標とする理由：下水道事業計画に基づく</li> <li>・ハード整備による整備水準の目標：66mm/h（1/10確率降雨）</li> </ul> <p>②目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i)生命の保護の観点：当該排水区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設の床上浸水を防止する。</li> <li>ii)都市機能の確保の観点：特になし。</li> <li>iii)個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。</li> <li>iv)その他：特になし。</li> </ul>

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有 (平成 年 月 日策定済み)</li> <li>・ 策定予定 (令和7年3月末策定予定)</li> </ul>			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 雨水管渠改築 排除面積 61.33ha 以上
			下水道管理者以外	
		ソフト対策	下水道管理者	・ 雨水出水浸水想定区域図の作成
			下水道管理者以外	・ 内水ハザードマップの作成・公表 (鹿児島市危機管理局)
	自 助	ハード対策		
		ソフト対策		

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

- \* 下水道浸水被害軽減総合事業の要件に該当し、当該事業による制度拡充にあたる施設の整備を実施する場合には、該当する施設をすべて記載すること (別紙可、下水道浸水被害軽減総合事業の様式を参照)。なお、下水道浸水被害軽減総合計画を策定済みの場合は、その施設調書を添付すること。
- \* 下水道総合地震対策事業の要件に該当し、当該事業による制度拡充にあたる施設の整備を実施する場合には、該当する施設整備を総合地震対策計画に位置づけること。
- \* 下水道施設の改築 (浸水に対する安全度の向上を伴わないもの) を実施する場合には、当該施設の改築を下水道ストックマネジメント計画に位置づけること。(総合地震対策計画に位置づけられている場合を除く)

年度計画（百万円）

名称	令和5年度	令和6年度	計
雨水管渠改築	356.0	543.1	899.1
計	356.0	543.1	899.1

備考) 事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。  
整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新川排水区等の雨水処理施設について、雨水排水機能を適切に確保する。 (746.244m<sup>3</sup>/分以上、1/10 対応)</li> </ul>
放流先河川との調整状況	
その他	当該事業は、下水道ストックマネジメント計画に基づく雨水管渠改築である。

